

栃木県議会ICT化推進計画の概要

令和3年11月

1. 背景・必要性

- 大規模自然災害や新たな感染症などが発生した際、議決機関である議会にも県民の安全・安心を確保するため迅速な対応が求められている。
- 情報社会が進展する中、議会の役割を果たすためには効率的に情報を取得し、有効活用することが一層重要となっている。
- 社会全体でICT化の推進が求められているが、議会では提出・報告等のために多くの紙資料が使用されているほか、各種連絡等が複数の方法で行われるなど、ペーパーレス化・業務の効率化が必要となっている。
- 県（執行部）は、「デジタル県庁の実現」に向けて業務のICT化を加速している。

二元代表制の一翼を担う議会がその役割を十分に果たすため、ICT化の取組を早急かつ着実に進める必要

2. ICT化の目的

- ① 災害時等における議会機能の維持・確保
- ② 政策立案・監視機能の更なる充実
- ③ ペーパーレス化
- ④ 業務の効率化

3. 基本的な機能

- ① 資料の共有化
- ② 情報伝達ツール
- ③ オンライン会議

4. ICT化の取組内容

(1) 資料の共有化（ペーパーレス化）

- ① 基本的に全ての会議・通知等でペーパーレス化を実施
- ② 段階的に実施
- ③ 一部の資料（保存用、進行用資料等）は紙資料を使用

(2) 情報伝達の効率化

- ① 連絡方法を基本的にビジネスチャットツールに一元化し、他の連絡手段は補助的に利用
- ② カレンダー機能の利用によりスケジュール調整を効率化
- ③ アンケート機能の利用による災害時等の安否確認

(3) オンライン会議

- ① 会議は基本的に対面で実施。感染症のまん延、大規模災害時などの際にオンラインによる会議を開催
- ② 本会議での実施には法令上の制約があるが、委員会については前提となる条例改正を早期に対応

効果

- ◆ 議会活動の更なる活性化
- ◆ ICTの活用による気づき
⇒DX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル変革）

5. ICT化に必要な環境

【環境整備の基本的考え】
「いつでも・どこでも」利用できる。
「わかりやすい・使いやすい」

- ① タブレットの導入
- ② ペーパーレス会議システムの導入
- ③ ビジネスチャットツールの導入
- ④ クラウドストレージの利用
- ⑤ オンライン会議アプリの利用
- ⑥ 議事堂内のWi-Fi環境の拡充
- ⑦ 使用のルール策定

6. 今後の検討課題

- ① ICTを活用した県民との関係の再構築
- ② 議員から提出される書類のペーパーレス化